

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	「ほほえみ便り」に、日々の暮らしぶりや献立等を掲載し、家族の意見を引き出しやすくすると共に家族以外の地域へもホームが紹介されている事を期待したい。	日々暮らしぶりや、行事等を掲載し、地域への配布も展開し交流をさらに深めると共に、家族への意見交換にも役立てていけるようにする。	行事などで撮った写真についてコメントし掲載したもの、行事の案内等を請求書と共に送付する。	2ヶ月
2	33	尊厳死や看取りに対する。家族や職員の理解や役割の共有が必要である。その時の増員体制や医療連携の制度も含め、誰もが納得出来るケアが出来るよう見当される事を期待したい。	利用者の状況に応じ、早めに家族や協力医と話し合いを行い、終末期ケアについての当ホームの方針、ケアの内容等について文章にまとめ、利用者や家族に説明できる準備を行う。	看取り介護についての説明書を作成し、終末期ケアについて勉強会を行い、職員間で支援の統一を図る。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。